



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月5日

上場会社名 古河機械金属株式会社
 コード番号 5715 URL <http://www.furukawakk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮川 尚久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上級執行役員経理部長 (氏名) 岩田 穂
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3212-7021

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	36,196	△10.6	939	15.2	972	101.8	665	—
25年3月期第1四半期	40,474	19.2	815	—	481	—	13	—

(注)包括利益 26年3月期第1四半期 2,294百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △1,264百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	1.65	—
25年3月期第1四半期	0.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	184,204	—	52,980	—	—	28.0
25年3月期	186,076	—	51,507	—	—	26.9

(参考)自己資本 26年3月期第1四半期 51,498百万円 25年3月期 50,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	78,000	△6.4	2,100	55.9	1,800	433.3	700	—	1.73
通期	150,000	△9.4	4,700	39.8	3,000	8.6	2,000	△32.8	4.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	404,455,680 株	25年3月期	404,455,680 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	320,272 株	25年3月期	318,422 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	404,135,908 株	25年3月期1Q	404,141,466 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
平成26年3月期 第1四半期決算短信 補足資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日～同年6月30日）の我が国経済は、政府・日銀による経済・金融政策を背景として景気に持ち直しの動きがみられ、企業収益は改善の方向へ向かっておりますが、円安の進行による原材料・エネルギー価格上昇や海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。

このような経済状況の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は361億96百万円（対前年同期比42億77百万円減）、営業利益は9億39百万円（対前年同期比1億23百万円増）となりました。売上高は、主として金属部門、開発機械部門およびユニック部門が対前年同期比増収となりましたが、平成24年10月に燃料事業から、平成25年3月に塗料事業から撤退したことを主因として減収となりました。なお、両部門の前年同期の売上高は、燃料部門が16億78百万円、塗料部門が37億74百万円、計54億53百万円でありました。

各報告セグメントの売上高と営業利益の状況は以下の通りであります。

産業機械部門では、主として橋梁が対前年同期比減収となり、売上高は19億96百万円（対前年同期比9億67百万円減）、営業利益は6百万円（対前年同期比1億12百万円減）となりました。

開発機械部門の売上高は57億42百万円（対前年同期比2億66百万円増）、営業損失は48百万円（対前年同期比27百万円の損失増）となりました。海外向けは中国向けや中近東向け等が不調でありましたが、国内向けはプレーカが公共工事の発注増により好調で、クローラドリルも東北地方の骨材需要の増加による砕石業、石灰業の増産を背景として売上を伸ばすことができました。

ユニック部門の売上高は53億11百万円（対前年同期比3億円増）、営業利益は5億11百万円（対前年同期比16百万円減）となりました。普通トラックの登録台数はエコカー減税等の優遇制度があった昨年に比べて減少し対前年同期比88.7%となりましたが、国内向けユニッククレーンの売上は前年同期並みとなりました。また、海外向けミニ・クローラクレーンの出荷が大きく伸びました。

産業機械、開発機械およびユニックの機械3部門の合計売上高は130億50百万円（対前年同期比4億円減）、営業利益は4億69百万円（対前年同期比1億56百万円減）となりました。

金属部門の売上高は197億37百万円（対前年同期比13億28百万円増）、営業利益は3億21百万円（対前年同期比1億88百万円増）となりました。電気鋼の販売数量は24,677トン（対前年同期比224トン増）となり、海外相場は下落しましたが、円安の影響で増収となりました。

電子部門の売上高は14億32百万円（対前年同期比6百万円減）、営業利益は38百万円（前年同期は23百万円の損失）となりました。

化成部門の売上高は15億34百万円（対前年同期比2億70百万円増）、営業利益は74百万円（対前年同期比7百万円減）となりました。

不動産部門の売上高は2億64百万円（対前年同期比1百万円減）、営業利益は60百万円（対前年同期比0百万円減）となりました。

当第1四半期連結累計期間の経常利益は9億72百万円（対前年同期比4億90百万円増）となりました。特別利益に受取補償金3億61百万円他、特別損失に固定資産除売却損11百万円を計上した結果、四半期純利益は6億65百万円（対前年同期比6億51百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,842億4百万円で前連結会計年度末に比べ18億72百万円減少しました。これは主として受取手形及び売掛金、現金及び預金の減少によるものであります。有利子負債（借入金）は825億77百万円で前連結会計年度末に比べ19億42百万円増加しました。純資産は529億80百万円で、前連結会計年度末に比べ14億73百万円増加し、これは主として株価上昇によるその他有価証券評価差額金の増および円安進行による為替換算調整勘定のマイナス幅の縮小によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、直近における各部門の状況および市況動向等を考慮し、また、当初（平成25年5月10日）発表の業績予想における前提である銅価7,100米ドル/トン（通期）、為替85円/米ドル（通期）を、第2四半期連結累計期間では、銅価7,000米ドル/トン、為替99円60銭/米ドルに変更いたしました。この結果、第2四半期連結累計期間では、主として金属部門およびユニック部門が増収となる見込みであります。また、円安による金属部門の採算好転やその他の部門での為替差益の計上等により営業利益、経常利益、四半期純利益を上方修正いたしました。

なお、通期予想につきましては、修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,268	16,398
受取手形及び売掛金	23,513	21,144
商品及び製品	12,760	13,708
仕掛品	6,960	8,021
原材料及び貯蔵品	11,818	11,244
その他	6,286	5,296
貸倒引当金	△100	△108
流動資産合計	79,507	75,706
固定資産		
有形固定資産		
土地	55,006	55,012
その他（純額）	24,018	24,648
有形固定資産合計	79,024	79,661
無形固定資産		
のれん	64	61
その他	150	155
無形固定資産合計	214	217
投資その他の資産		
投資有価証券	24,682	25,953
その他	3,640	3,677
貸倒引当金	△992	△1,011
投資その他の資産合計	27,329	28,619
固定資産合計	106,569	108,497
資産合計	186,076	184,204
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,532	17,117
短期借入金	36,390	38,682
未払法人税等	1,057	333
引当金	222	236
その他	12,236	15,049
流動負債合計	74,439	71,420
固定負債		
長期借入金	44,243	43,894
引当金	1,235	1,073
資産除去債務	200	201
その他	14,449	14,632
固定負債合計	60,130	59,802
負債合計	134,569	131,223

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,208	28,208
利益剰余金	18,580	18,480
自己株式	△46	△46
株主資本合計	46,742	46,641
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,727	3,455
繰延ヘッジ損益	△390	△140
土地再評価差額金	3,672	3,630
為替換算調整勘定	△2,641	△2,088
その他の包括利益累計額合計	3,368	4,857
新株予約権	53	53
少数株主持分	1,343	1,429
純資産合計	51,507	52,980
負債純資産合計	186,076	184,204

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	40,474	36,196
売上原価	35,235	31,298
売上総利益	5,238	4,898
販売費及び一般管理費	4,423	3,958
営業利益	815	939
営業外収益		
受取配当金	136	164
為替差益	—	166
その他	135	255
営業外収益合計	272	586
営業外費用		
支払利息	329	296
休鉱山管理費	142	128
その他	134	128
営業外費用合計	605	553
経常利益	481	972
特別利益		
受取補償金	460	361
その他	6	81
特別利益合計	466	443
特別損失		
固定資産除売却損	2	11
投資有価証券評価損	312	—
特別損失合計	315	11
税金等調整前四半期純利益	633	1,404
法人税、住民税及び事業税	348	328
法人税等調整額	275	340
法人税等合計	624	668
少数株主損益調整前四半期純利益	9	735
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4	70
四半期純利益	13	665

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9	735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,855	728
繰延ヘッジ損益	179	186
為替換算調整勘定	216	408
持分法適用会社に対する持分相当額	185	234
その他の包括利益合計	△1,274	1,558
四半期包括利益	△1,264	2,294
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,269	2,196
少数株主に係る四半期包括利益	5	97

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						
	産業機械	開発機械	ユニック	金属	電子	化成品	塗料
売上高							
外部顧客への売上高	2,964	5,475	5,011	18,408	1,438	1,264	3,774
セグメント間の 内部売上高又は振替高	571	9	23	111	2	228	8
計	3,535	5,484	5,034	18,519	1,441	1,492	3,783
セグメント利益又は損失 (△)	119	△21	528	133	△23	81	1

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	燃料	計				
売上高							
外部顧客への売上高	265	1,678	40,280	193	40,474	—	40,474
セグメント間の 内部売上高又は振替高	35	82	1,072	332	1,404	△1,404	—
計	300	1,761	41,352	525	41,878	△1,404	40,474
セグメント利益又は損失 (△)	61	△17	864	△22	841	△26	815

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△26百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△21百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					
	産業機械	開発機械	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	1,996	5,742	5,311	19,737	1,432	1,534
セグメント間の 内部売上高又は振替高	549	4	19	104	1	10
計	2,546	5,746	5,331	19,841	1,433	1,545
セグメント利益又は損失 (△)	6	△48	511	321	38	74

（単位：百万円）

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	264	36,019	177	36,196	—	36,196
セグメント間の 内部売上高又は振替高	34	724	355	1,080	△1,080	—
計	298	36,744	532	37,277	△1,080	36,196
セグメント利益又は損失 (△)	60	965	△19	946	△7	939

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△7百万円には、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△18百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成24年10月1日付けで、燃料セグメントを構成する古河コマース株式会社の全株式を譲渡し、燃料事業から撤退いたしました。また、平成25年3月27日付けで、塗料セグメントを構成する株式会社トウペの当社が保有する全株式を譲渡し、塗料事業から撤退いたしました。これに伴い、当第1四半期連結累計期間より、「燃料」及び「塗料」の両セグメントを除外しております。

前提

			対前年同期増減	
銅価	第1四半期決算	\$/mt	7,146	△ 721
	第2四半期累計予想	\$/mt	7,000	△ 791
	年度予想	\$/mt	7,100	△ 755
為替	第1四半期決算	円/\$	98.8	18.6
	第2四半期累計予想	円/\$	99.6	20.2
	年度予想	円/\$	85.0	1.9

平成26年3月期 第1四半期決算短信 補足資料

2013年8月5日

古河機械金属株式会社

【売上高】

(単位:百万円 単位未満切捨)

	平成25年3月期	平成26年3月期	対前年同期増減
	第1四半期	第1四半期	
機械部門	13,451	13,050	△ 400
（産業機械）	(2,964)	(1,996)	(△ 967)
（開発機械）	(5,475)	(5,742)	(266)
（ユニック）	(5,011)	(5,311)	(300)
金属部門	18,408	19,737	1,328
電子部門	1,438	1,432	△ 6
化成品部門	1,264	1,534	270
塗料部門	3,774	—	△ 3,774
不動産部門	265	264	△ 1
燃料部門	1,678	—	△ 1,678
その他	193	177	△ 15
【合計】	40,474	36,196	△ 4,277

平成26年3月期			
第2四半期累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
31,000	2,935	66,800	9,947
(7,700)	(1,402)	(20,600)	(7,705)
(12,200)	(522)	(25,500)	(2,194)
(11,100)	(1,010)	(20,700)	(48)
40,300	2,740	69,100	△ 8,844
2,900	136	6,000	1,012
3,000	444	6,300	1,206
—	△ 7,664	—	△ 15,078
500	△ 33	1,000	△ 58
—	△ 3,770	—	△ 3,770
300	△ 80	800	46
78,000	△ 5,291	150,000	△ 15,539

【営業利益】

	平成25年3月期	平成26年3月期	対前年同期増減
	第1四半期	第1四半期	
機械部門	626	469	△ 156
（産業機械）	(119)	(6)	(△ 112)
（開発機械）	(△ 21)	(△ 48)	(△ 27)
（ユニック）	(528)	(511)	(△ 16)
金属部門	133	321	188
電子部門	△ 23	38	62
化成品部門	81	74	△ 7
塗料部門	1	—	△ 1
不動産部門	61	60	△ 0
燃料部門	△ 17	—	17
その他	△ 22	△ 19	2
（計）	841	946	104
調整額	△ 26	△ 7	19
【合計】	815	939	123

平成26年3月期			
第2四半期累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
1,500	247	4,150	1,226
(500)	(320)	(1,600)	(821)
(0)	(△ 33)	(650)	(717)
(1,000)	(△ 38)	(1,900)	(△ 312)
450	553	300	17
10	48	70	332
150	△ 10	300	△ 4
—	△ 75	—	△ 65
70	△ 51	0	△ 219
—	28	—	28
△ 50	△ 4	△ 50	13
2,130	735	4,770	1,328
△ 30	16	△ 70	8
2,100	752	4,700	1,336

平成24年10月1日付けで、燃料部門を構成する古河コマース株式会社の全株式を譲渡し、燃料事業から撤退いたしました。また、平成25年3月27日付けで、塗料部門を構成する株式会社トウペの当社が保有する全株式を譲渡し、塗料事業から撤退いたしました。両部門については、増減比較のために記載しております。

また、今年度予想は修正しておりませんので、前提における銅価、為替の年度予想および売上高、営業利益の年度予想は、前回発表予想の数値であります。